



~13  
1508





遠  
1.508

番



あはれ  
あはれ  
あはれ

あはれ  
あはれ



13  
1508





どのりの  
 くら八まか  
 一ふをバハハ  
 いひこま  
 十ふさのふあり  
 びはバとありを  
 うさき  
 ねひひあか  
 げんぞこまそ  
 こらなるうの  
 いこひをす

ちまうひと  
 ちまうひと  
 ちまうひと



玉掛  
 ひとーとあ  
 ちまうひとあ  
 どのりのふ  
 こくひん  
 ちまうひ  
 あつふあり  
 あをく地へまど  
 ひもーやとど  
 りちだあるれま  
 あそとせのふ  
 中んああまど  
 うせつふあひつ  
 ひんを あねバ  
 あつふをひつ  
 ういとりもありて  
 せんト ああうふ  
 うさきかことま  
 つぬみさり  
 どのりのみまど  
 あそまのさうあ  
 日月とどつ  
 ちまうひと



三つ三つ入地とあるが  
 まつめてきりしやう  
 るりてきりしやう  
 三つ三つ十二んか  
 まつてきりしやう  
 三つ三つ三つ  
 三つ三つ三つ  
 三つ三つ三つ  
 三つ三つ三つ  
 三つ三つ三つ



三つ三つ  
 三つ三つ  
 三つ三つ

三つ三つ  
 三つ三つ

三つ三つ  
 三つ三つ  
 三つ三つ







みづのすゝま

をばしつゝをゆりては入ふ  
たをくらねそりつゝ  
あつて山々ふふさうくさ  
のまよふまよふとらつと  
ゆけすま

こまごうろをんもち舟と  
まふとちりらう村つゝ  
うねとやあつてとみせん  
ゆふあられす

あふむるをとやとこいのま  
ゆいせにむとごりすす  
らふもちつとやとやと  
あふれまよふとちりらと  
まうとのののののをひる  
あまもかしてゆいむ

けまらうあふれまよふとちりらと  
ちやのゆきうへのゆき  
まのうまとやいのま  
ごらうらうま  
そのへんみ  
うねとまてんし  
あふれまよふとちりらと  
まもとらう

まもとらう



あつて山々ふふさうくさ  
のまよふまよふとらつと  
ゆけすま

まもとらう

あふれまよふとちりらと  
まうとのののののをひる  
あまもかしてゆいむ

まもとらう

あつて山々ふふさうくさ  
のまよふまよふとらつと  
ゆけすま

まもとらう

あつて山々ふふさうくさ  
のまよふまよふとらつと  
ゆけすま

まもとらう





大さふろぎんを  
 けうひあつ  
 二日と夜とうりうりして  
 七つめをあらめて大めねとあり  
 三つろろのうたをくらとね木の

あつたの  
 ぶすあひ  
 びすあ  
 らの  
 ちの  
 ちの



三つろろのうたをくらとね木の  
 七つめをあらめて大めねとあり  
 二日と夜とうりうりして  
 大さふろぎんを  
 けうひあつ

うらうら  
 やうの  
 ちの  
 ちの

梅  
 の  
 ちの



山の  
 ちろ

かて...  
 の...  
 の...  
 の...

山...  
 の...  
 の...



山...  
 の...



山...  
 の...



三日月やまのり  
 とちまの川もあか  
 しく川もあかひれ  
 りのりさるれとす  
 さねのりさるれとす  
 さるれかごりのりさるれ  
 さるれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす



三日月の川もあか  
 しく川もあかひれ  
 りのりさるれとす  
 さねのりさるれとす  
 さるれかごりのりさるれ  
 さるれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす

三日月の川もあか  
 しく川もあかひれ  
 りのりさるれとす  
 さねのりさるれとす  
 さるれかごりのりさるれ  
 さるれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす



三日月の川もあか  
 しく川もあかひれ  
 りのりさるれとす  
 さねのりさるれとす  
 さるれかごりのりさるれ  
 さるれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす  
 あかひれさるれとす



Handwritten text in a cursive script, possibly a page number or a section header, located in the upper left corner of the illustration.

Handwritten text in a cursive script, located near the top of the illustration, possibly describing the castle or the surrounding area.

Handwritten text in a cursive script, located on the right side of the illustration, possibly describing the traveler or the journey.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle of the illustration, possibly describing the path or the landscape.

Handwritten text in a cursive script, located in the lower left area of the illustration, possibly describing the boat or the water.

下

東

父福乃中記

通油町 蔦屋板



山東亭主人製

四

癸丑春



あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや

あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや

あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや

あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや

あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや

あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや  
あや

三つがら川  
川がまがら川  
三つがら川の  
まがら川の  
まがら川の  
まがら川  
三つがら川  
三つがら川  
三つがら川  
三つがら川  
三つがら川



右はあけ地着道  
左はひびきの道



あけ地着道  
ひびきの道  
あけ地着道  
ひびきの道



三つがら川  
山  
三つがら川  
山  
三つがら川  
山



三つがら川  
三つがら川  
三つがら川  
三つがら川  
三つがら川  
三つがら川  
三つがら川  
三つがら川  
三つがら川  
三つがら川

あけ地着道  
ひびきの道  
あけ地着道  
ひびきの道





三つふひたすハハ知れぬのたあるの  
 一死ゆゑごんごあやうせう  
 じんがうのうけけんを  
 のぐれこあひひの  
 あつて  
 ちの

まひり



けあやくうのうとびんがうのう  
 あいつのありまを神かんごう村へさ  
 かせられがのあやくうのうを  
 かくとまうすかひやくびんがう  
 うのうへまがりまのうとちあひ  
 てるまの終りてひるあひのうの  
 のてひひまひをうけてま  
 せら大さふあひまするま  
 りやくうのうをう  
 いまびんがうのう  
 けあやく  
 おまのれ  
 あまが

三つふひたすハハ知れぬのたあるの  
 一死ゆゑごんごあやうせう  
 じんがうのうけけんを  
 のぐれこあひひの  
 あつて  
 ちの  
 以来夫婦声  
 鼻落知不孝  
 とりのつて  
 まんがあべうが



山は高く  
 谷は深く  
 名木の金  
 熊の力



意馬心猿の  
 力を借りて  
 山を越え  
 谷を渡る

山は高く  
 谷は深く  
 名木の金  
 熊の力  
 意馬心猿の  
 力を借りて  
 山を越え  
 谷を渡る

こゝろをなすゝかゝりしは  
 らいりしをなすゝかゝりし  
 いふにこそ神八つ魂の  
 まつたつちやがひしやち  
 むしにこそあゝりし  
 せんにこそあゝりし  
 とも老の坂をのぼつて  
 又十孫人のる年を  
 すまるといふ  
 かゝりしをなすゝかゝりし  
 うまれやちいさう  
 をなすゝかゝりし  
 あひらきしは  
 びんぼうしんりの  
 ねまふつる宛地十萬  
 りやうけりしんを  
 つのしんを  
 又百八とあり  
 けしめしめ  
 せんびき  
 びんぼう  
 のり日月  
 あ



老の坂

三老身をなすゝかゝりし  
 切さかりしひまゆく  
 くらゝわんのほせりや  
 いまのころ〜れとあり  
 ありひのさ



又八つ魂びんぼうの  
 今まのころで千の  
 ころまふあひれとす  
 こゝろやだんあゝり  
 せいしんをなすゝかゝりし  
 ちひまほと〜りれは  
 めびきとさつや〜り  
 へびんをなすゝかゝりし  
 けるあはれ〜りやと  
 ひ〜りちち〜りつと  
 あり何〜り〜り  
 ともまのころ〜り  
 ありまのころ〜り  
 ひら〜り〜り  
 くらゝわんのほせり  
 ありひのさ





